

中小企業景況調査報告書

2026年1～3月期実績

2026年4～6月期予測

この調査は、商工会の経営改善普及事業の指導資料にするため、国・道の指定事業として、全国商工会連合会を中心に昭和54年から全国一斉に実施しているものである。

調査要領と、北海道分の調査対象20商工会の回答企業数は、次のとおりである。

1. 調査要領

(1) 調査対象時期等

①調査対象時期：2026年1～3月期の実績及び2026年4～6月期見通し

②調査期間：2026年2月17日～3月5日 ※調査時点は2026年3月1日

(2) 調査方法

①商工会の経営指導員等による訪問面接調査

②調査対象企業の抽出は、業種・規模等の有意抽出法による。

(3) 調査対象商工会

①人口～9,999人・・・せたな、ニセコ町、積丹町、北竜町、南富良野町、遠別
枝幸町、安平町、鹿追町、弟子屈町

②人口10,000～29,999人・・・七飯町、えんがる、湧別町、新ひだか町、別海町

③人口30,000人～(市に含まれる)・・・石狩北、北斗市、いわみざわ、あさひかわ、音更町

(4) 回答企業数

業種	調査企業数	回答企業数	回答率	業種	調査企業数	回答企業数	回答率
製造業	48	47	97.9%	小売業	86	85	98.8%
建設業	51	51	100.0%	サービス業	115	107	93.0%
				合計	300	290	96.7%

※設備投資の設問については、未回答の企業があるので回答企業数とは一致しない業種があります。

(5) D I = ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)とは？

前年同期と比べて、「増加(上昇・好転)」-「減少(低下・悪化)」の回答企業の比率。

例えば、売上高が前年同期比で「増加」回答企業50%、「不変」回答企業30%、「減少」回答企業20%の場合、D I は50-20=(+)30となり、売上高の面では「増加(上昇・好転)」気運であることを表わす。

2. 全業種の業況(前年同期比、前期比の推移) ※D I 値のみ

業種	前年同期比		前 期 比					
	今期	来期見込	R7. 1-3	R7. 4-6	R7. 7-9	R7. 10-12	今期	来期見込
製造業	▲ 24.0	▲ 19.5	▲ 40.5	▲ 26.6	▲ 24.4	▲ 10.7	▲ 26.1	▲ 13.4
建設業	▲ 19.1	▲ 25.5	▲ 25.0	▲ 8.0	0.0	▲ 5.9	▲ 19.1	▲ 21.2
小売業	▲ 25.0	▲ 29.2	▲ 41.0	▲ 16.9	▲ 13.0	▲ 28.2	▲ 29.7	▲ 32.1
サービス業	▲ 29.7	▲ 23.3	▲ 33.3	▲ 23.6	▲ 18.3	▲ 21.7	▲ 28.2	▲ 19.2

3. 北海道内商工会地域の状況

製造業 主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R7.4-6	R7.7-9	R7.10-12	今期	来期見込
業況	好 転	4.3	2.2	6.7	6.7	10.6	4.3	4.4
	不 変	67.4	76.1	60.0	62.2	68.1	65.3	77.8
	悪 化	28.3	21.7	33.3	31.1	21.3	30.4	17.8
	D・I	▲ 24.0	▲ 19.5	▲ 26.6	▲ 24.4	▲ 10.7	▲ 26.1	▲ 13.4
売上(加工)額	増 加	19.6	13.0	37.8	22.2	31.9	13.0	
	不 変	52.1	69.6	33.3	46.7	40.4	50.0	
	減 少	28.3	17.4	28.9	31.1	27.7	37.0	
	D・I	▲ 8.7	▲ 4.4	8.9	▲ 8.9	4.2	▲ 24.0	
資金繰り	好 転	2.2	4.4	2.3	0.0	6.5	2.2	
	不 変	80.0	82.3	81.8	79.5	80.5	80.0	
	悪 化	17.8	13.3	15.9	20.5	13.0	17.8	
	D・I	▲ 15.6	▲ 8.9	▲ 13.6	▲ 20.5	▲ 6.5	▲ 15.6	
原材料仕入単価	上 昇	66.7	64.4					
	不 変	33.3	35.6					
	低 下	0.0	0.0					
	D・I	66.7	64.4					
採算(経常利益)	好 転	4.3	4.3					
	不 変	58.7	71.8					
	悪 化	37.0	23.9					
	D・I	▲ 32.7	▲ 19.6					

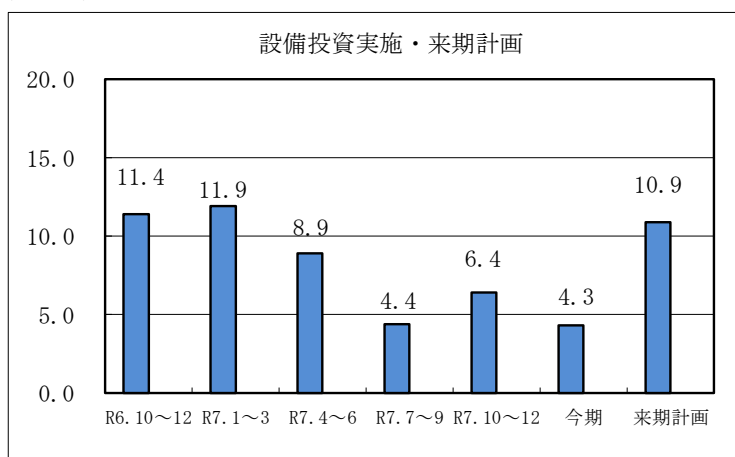
○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答46事業所の内、2事業所(4.3%)が実施。
●付帯施設=1事業所、●その他=1事業所

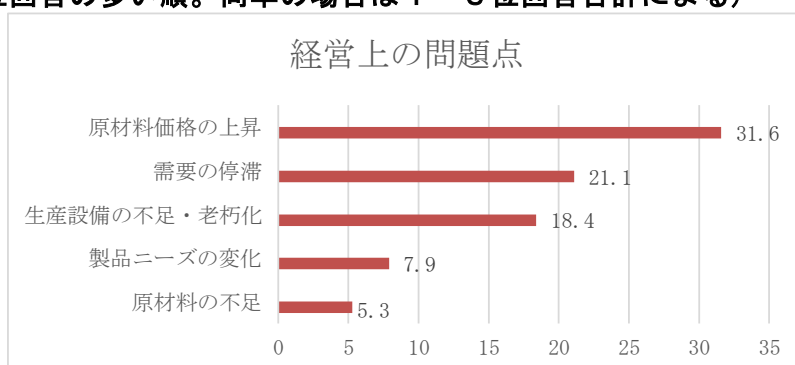
【来期計画内容】

回答46事業所の内、来期に5事業所(10.9%)が計画。
●生産設備=3事業所、●車両・運搬具=2事業所、●付帯施設=1事業所



○ 今期の経営上の問題点(1位回答の多い順。同率の場合は1~3位回答合計による)

1位は前回同様「原材料価格の上昇」で、2.3ポイント増加している。2位は、前回4位だった「需要の停滞」で、8.9ポイント増加している。3位は「生産設備の不足・老朽化」で、3.8ポイント増加している。4位は「製品ニーズの変化」で、6.7ポイント減少している。5位は、前回同様「原材料の不足」であり、4.5ポイント増加している。



建設業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R7. 4-6	R7. 7-9	R7. 10-12	今期	来期見込
業況	好 転	4.3	4.3	8.0	16.0	7.8	4.3	4.3
	不 変	72.3	65.9	76.0	68.0	78.5	72.3	70.2
	悪 化	23.4	29.8	16.0	16.0	13.7	23.4	25.5
	D・I	▲ 19.1	▲ 25.5	▲ 8.0	0.0	▲ 5.9	▲ 19.1	▲ 21.2
完成工事 (請負工 事) 額	増 加	8.5	2.1	28.0	34.0	25.5	19.1	
	不 変	66.0	76.6	44.0	46.0	29.4	49.0	
	減 少	25.5	21.3	28.0	20.0	45.1	31.9	
	D・I	▲ 17.0	▲ 19.2	0.0	14.0	▲ 19.6	▲ 12.8	
資金繰り	好 転	4.3	2.1	4.0	10.2	7.8	0.0	
	不 変	85.1	83.0	76.0	81.6	76.5	89.4	
	悪 化	10.6	14.9	20.0	8.2	15.7	10.6	
	D・I	▲ 6.3	▲ 12.8	▲ 16.0	2.0	▲ 7.9	▲ 10.6	
材 料 仕入単価	上 昇	68.1	61.7					
	不 変	31.9	38.3					
	低 下	0.0	0.0					
	D・I	68.1	61.7					
採算(経 常利益)	好 転	2.1	0.0					
	不 変	72.4	68.1					
	悪 化	25.5	31.9					
	D・I	▲ 23.4	▲ 31.9					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

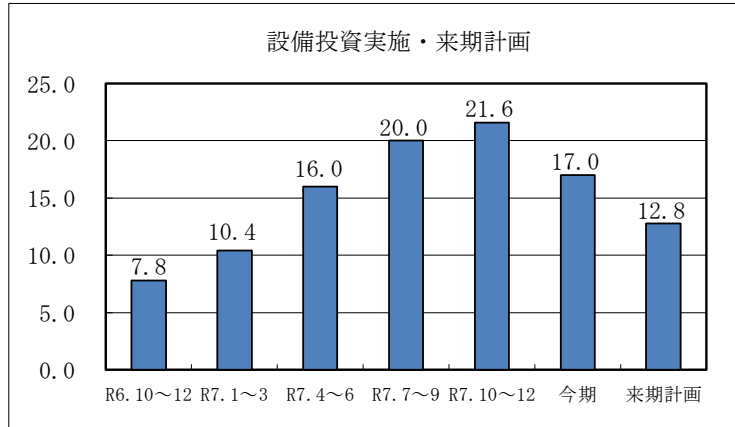
回答47事業所の内、8事業所(17.0%)が実施。

●OA機器=4事業所、●車両・運搬具=3事業所、●建設機械=2事業所

【来期計画内容】

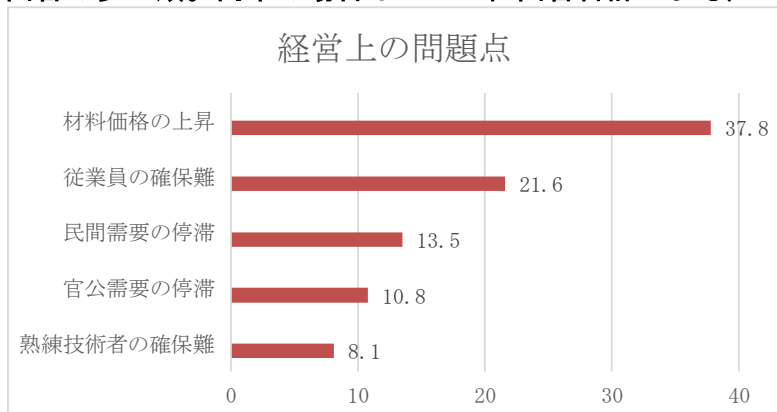
回答47事業所の内、来期は6事業所(12.8%)が計画。

●車両・運搬具=3事業所、●建設機械=2事業所、●建物、その他=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点(1位回答の多い順。同率の場合は1~3位回答合計による)

1位は、前回2位だった「材料価格の上昇」で、21.1ポイント増加した。2位は、前回1位だった「従業員の確保難」で9.4ポイント減少した。3位は「民間需要の停滞」で、3.2ポイント減少した。4位は「官公需要の停滞」で、3.5ポイント減少した。5位は前回番外の「熟練技術者の確保難」で、1.0ポイント増加した。



小 売 業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項 目	状 況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R7. 4-6	R7. 7-9	R7. 10-12	今期	来期見込
業 況	好 転	4.8	3.7	9.6	9.4	5.9	3.6	2.4
	不 変	65.4	63.4	63.9	68.2	60.0	63.1	63.1
	悪 化	29.8	32.9	26.5	22.4	34.1	33.3	34.5
	D・I	▲ 25.0	▲ 29.2	▲ 16.9	▲ 13.0	▲ 28.2	▲ 29.7	▲ 32.1
売上額	増 加	20.2	9.6	27.1	29.1	18.8	17.9	
	不 変	44.1	51.8	34.1	44.2	36.5	33.3	
	減 少	35.7	38.6	38.8	26.7	44.7	48.8	
	D・I	▲ 15.5	▲ 29.0	▲ 11.7	2.4	▲ 25.9	▲ 30.9	
資金繰り	好 転	2.4	3.6	4.7	4.7	1.2	3.6	
	不 変	73.5	67.5	75.3	77.7	68.2	71.1	
	悪 化	24.1	28.9	20.0	17.6	30.6	25.3	
	D・I	▲ 21.7	▲ 25.3	▲ 15.3	▲ 12.9	▲ 29.4	▲ 21.7	
商 品 仕入単価	上 昇	63.1	54.8					
	不 変	33.3	41.6					
	低 下	3.6	3.6					
	D・I	59.5	51.2					
採算(経 常利益)	好 転	4.8	4.8					
	不 変	60.7	63.1					
	悪 化	34.5	32.1					
	D・I	▲ 29.7	▲ 27.3					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

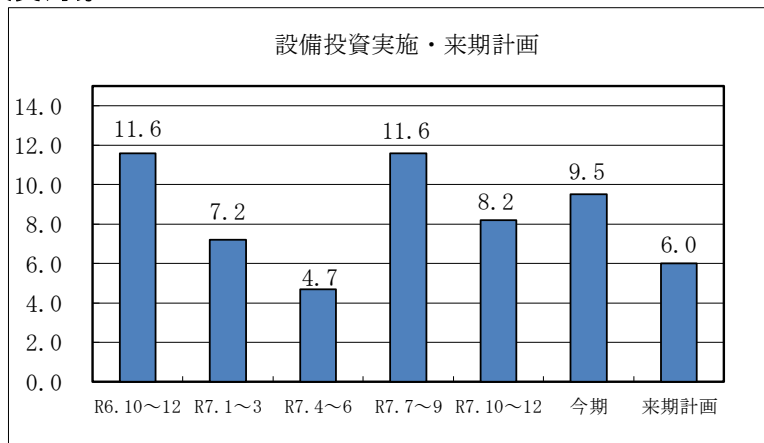
回答84事業所の内8事業所(9.5%)が実施。

- 車両・運搬具、OA機器=各3事業所、●販売設備=2事業所、●店舗、付帯施設、その他=各1事業所

【来期計画内容】

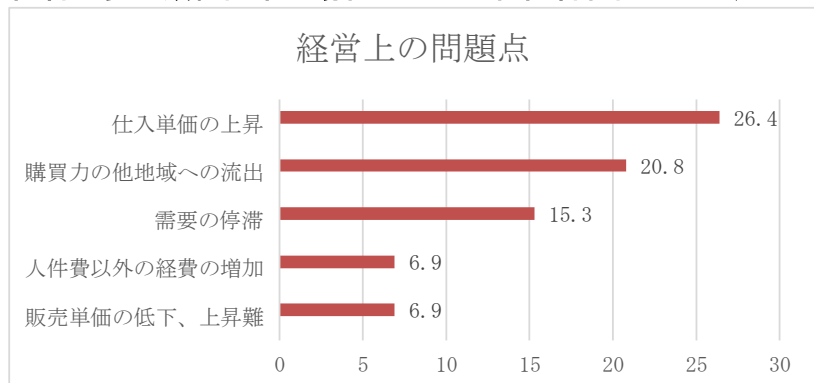
回答84事業所の内、来期は5事業所(6.0%)が計画。

- 販売設備=2事業所、●車両・運搬具、OA機器、その他=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

1位は前回同様「仕入単価の上昇」で、3.7ポイント増加した。2位は前回同率1位だった「購買力の他地域への流出」で、1.9ポイント減少した。3位は「需要の停滞」で、0.7ポイント減少した。4位は、同率で「人件費以外の経費の増加」と「販売単価の低下、上昇難」で、「人件費以外の経費の増加」は1.1ポイント減少し、「販売単価の低下、上昇難」は4.2ポイント増加した。



サービス業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R7. 4-6	R7. 7-9	R7. 10-12	今期	来期見込
業況	好 転	5.9	3.0	6.6	4.8	6.6	6.1	4.0
	不 変	58.5	70.7	63.2	72.1	65.1	59.6	72.8
	悪 化	35.6	26.3	30.2	23.1	28.3	34.3	23.2
	D・I	▲ 29.7	▲ 23.3	▲ 23.6	▲ 18.3	▲ 21.7	▲ 28.2	▲ 19.2
売上(収入)額	増 加	13.7	6.9	24.3	28.6	18.7	12.7	
	不 変	49.0	63.4	39.3	52.4	51.4	48.1	
	減 少	37.3	29.7	36.4	19.0	29.9	39.2	
	D・I	▲ 23.6	▲ 22.8	▲ 12.1	9.6	▲ 11.2	▲ 26.5	
資金繰り	好 転	3.0	2.0	3.8	5.0	4.8	5.1	
	不 変	69.7	75.6	75.0	76.2	73.3	62.6	
	悪 化	27.3	22.4	21.2	18.8	21.9	32.3	
	D・I	▲ 24.3	▲ 20.4	▲ 17.4	▲ 13.8	▲ 17.1	▲ 27.2	
仕入単価(材料等)	上 昇	57.4	47.5					
	不 変	40.6	49.5					
	低 下	2.0	3.0					
	D・I	55.4	44.5					
採算(経常利益)	好 転	6.9	3.0					
	不 変	52.9	69.3					
	悪 化	40.2	27.7					
	D・I	▲ 33.3	▲ 24.7					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

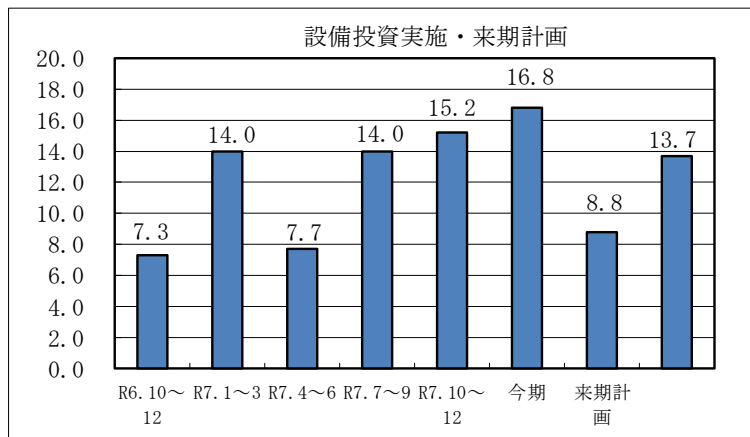
回答102事業所の内、9事業所(8.8%)が実施。

- 車両・運搬具=6事業所、
- OA機器=3事業所、●サービス=1事業所

【来期計画内容】

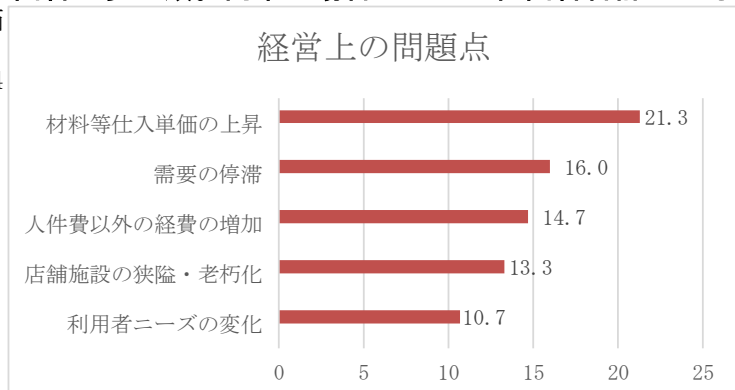
回答102事業所の内、14事業所(13.7%)が計画。

- サービス=6事業所、●建物=5事業所、●車両・運搬具=2事業所、●土地、付帯施設、OA機器、その他=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

1位は前回同様「材料等仕入単価の上昇」で1.8ポイント減少した。2位も前回同様「需要の停滞」で2.4ポイント増加した。3位は前回5位だった「人件費以外の経費の増加」で、3.3ポイント増加した。4位は「店舗施設の狭隘・老朽化」で、0.8ポイント増加した。5位は前回3位だった「利用者ニーズの変化」で3.7ポイント減少した。



4. 全国と対比した主要景況項目の動向 -前年同期比D I-

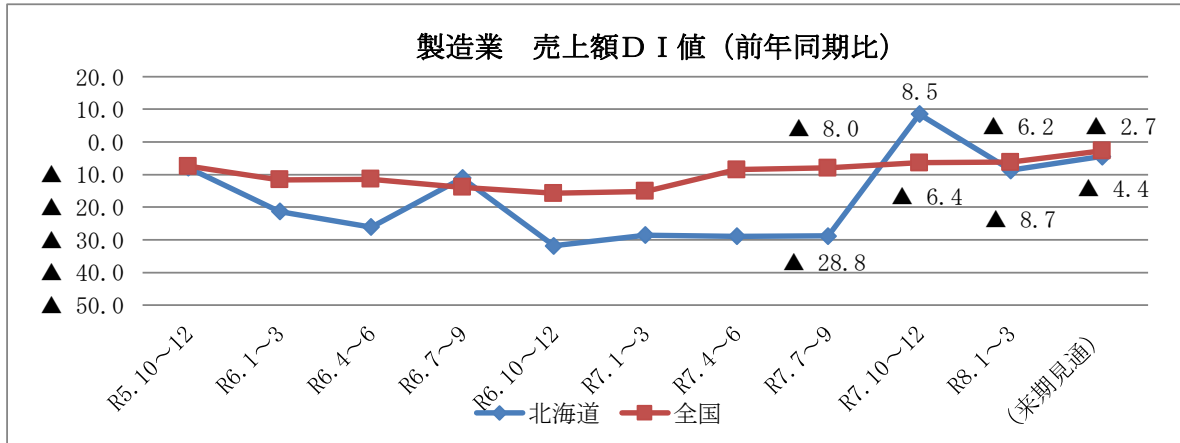
【各調査時期における前年同期比の「増加(上昇・好転)」回答企業比率-「減少(低下・悪化)」回答企業比率】

製造業

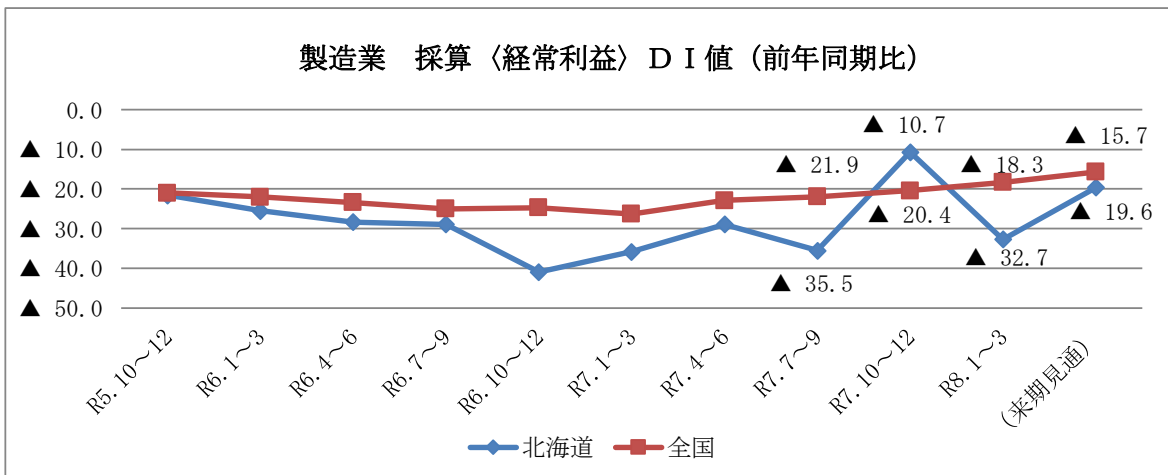
【北海道】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
(見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

【全国】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
(見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

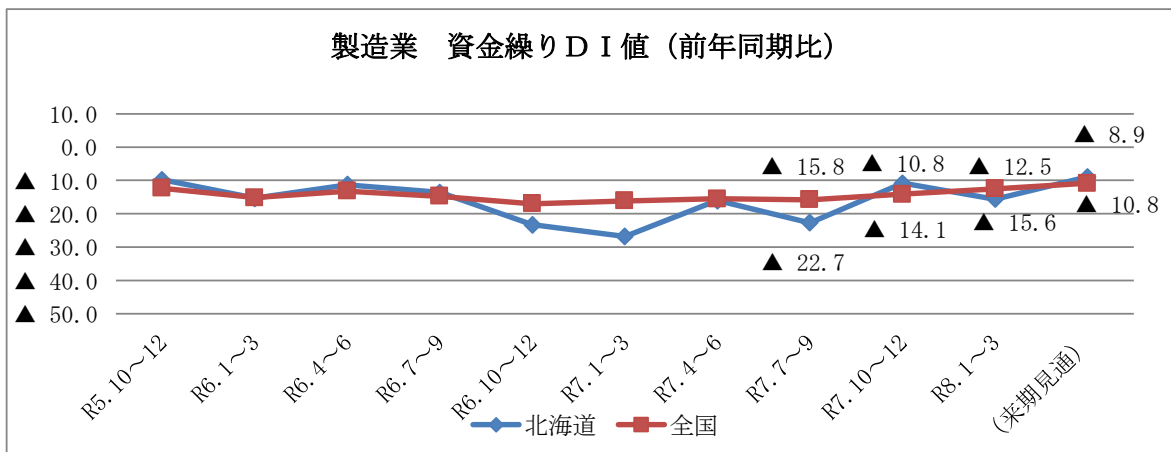
売上額



採算



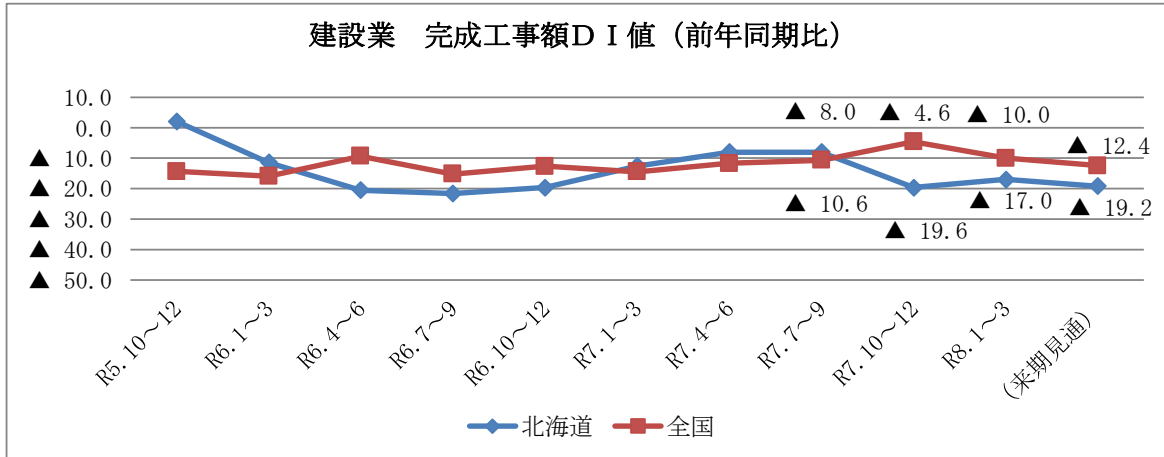
資金繰り



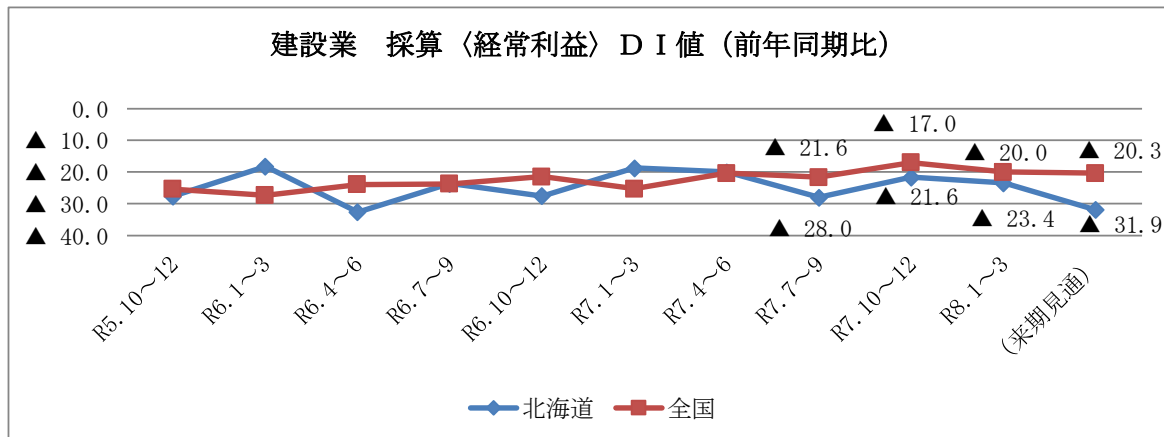
建設業

【北海道】(今期)完成工事額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 (見込)完成工事額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…上昇
 【全国】(今期)完成工事額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 (見込)完成工事額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

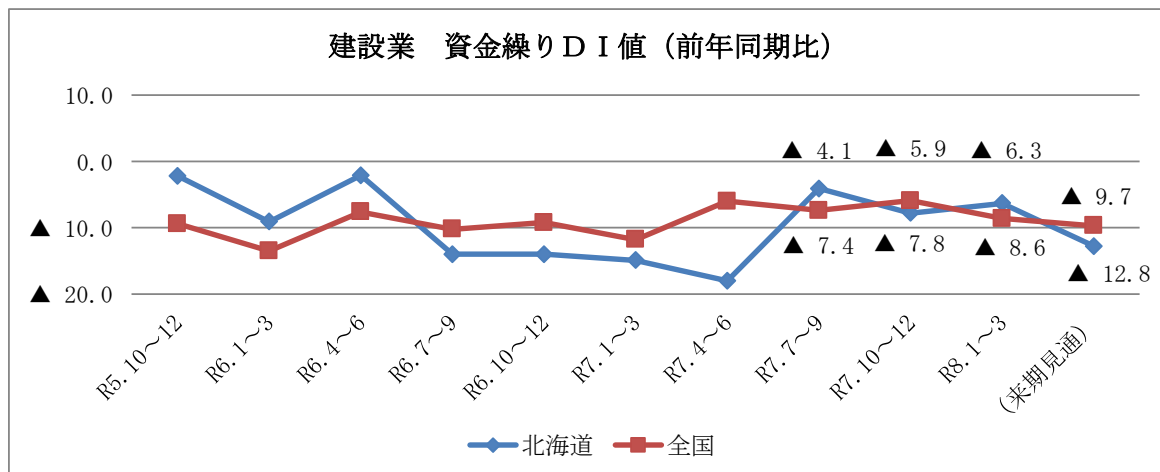
完成工事額



採算



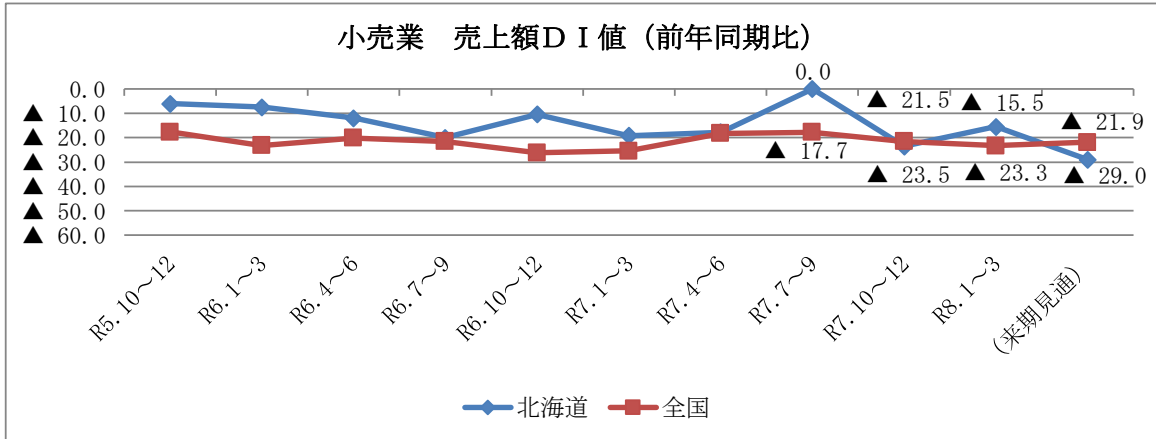
資金繰り



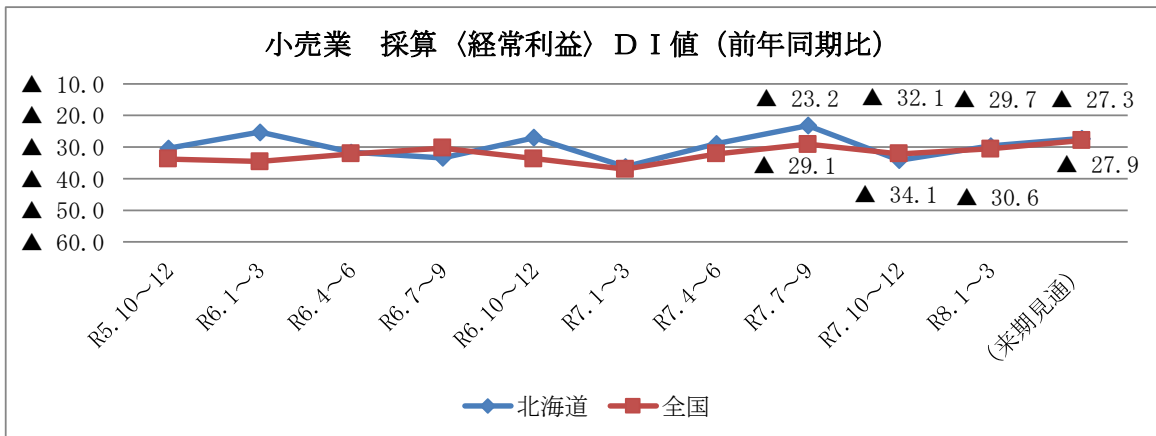
小売業

【北海道】(今期)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
 (見込)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 【全国】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 (見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

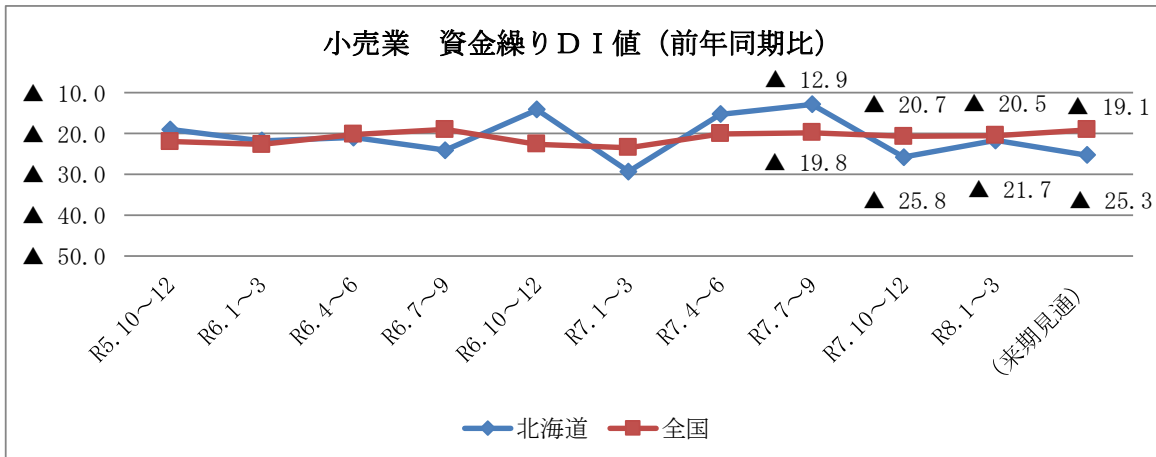
売上額



採算



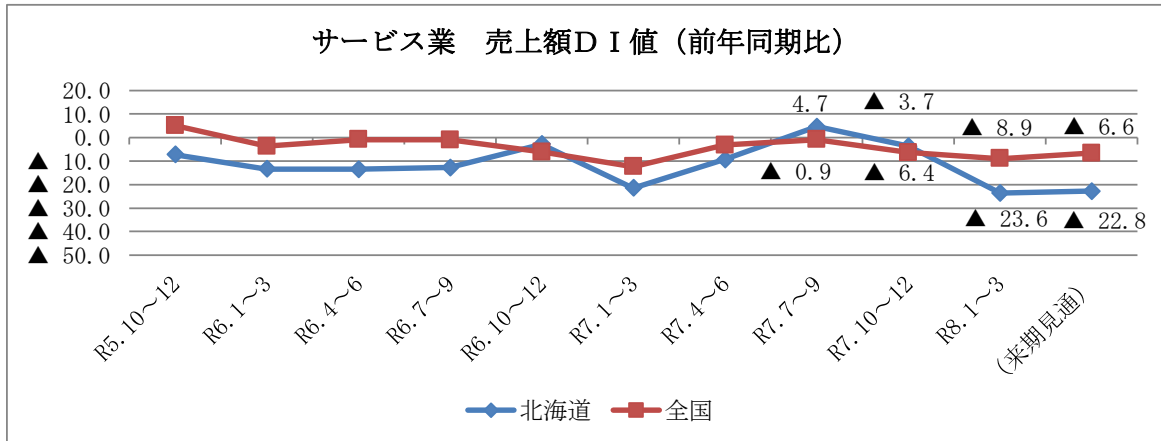
資金繰り



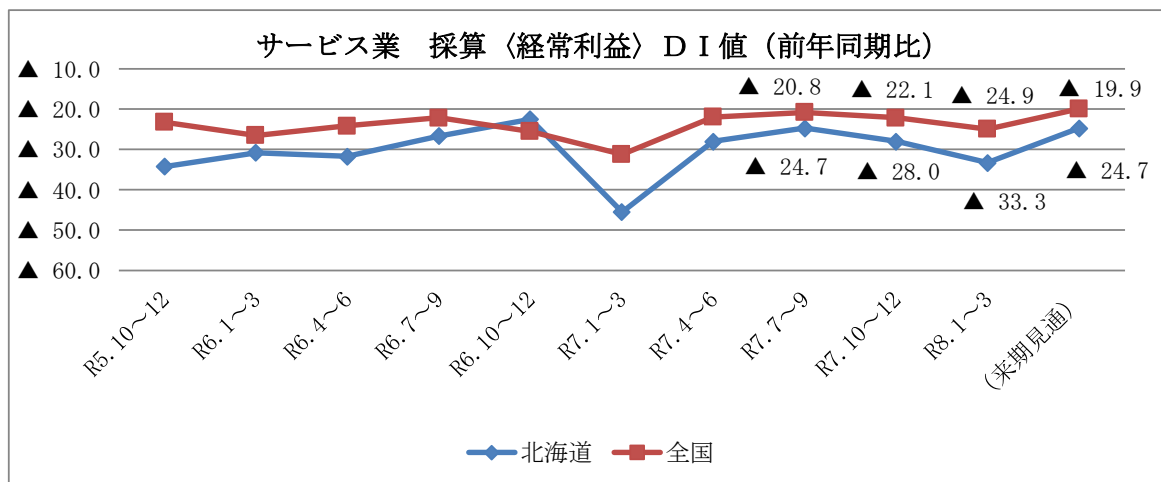
サービス業

【北海道】(今期)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
 (見込)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 【全国】(今期)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…減少
 (見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

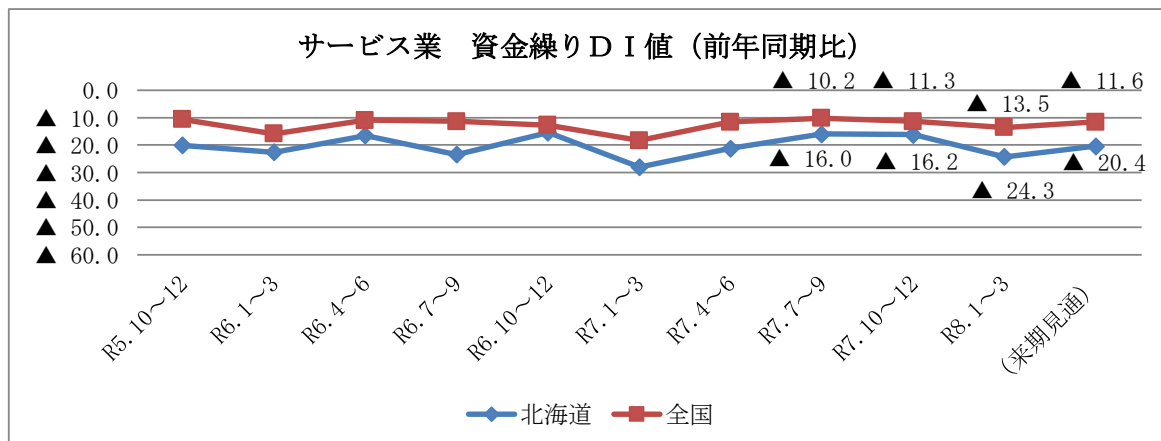
売上額



採算



資金繰り



5. 自社の業況判断の背景について感じている事(調査対象企業の声)

業種	内容
製造業	<p>○原材料があまりにも高くなり過ぎて、それを転嫁できず利益が出なくなっている。</p> <p>○エゾシカレザーを扱う業者が増加しすぎたため、レザー原料単価の価格競争が激しくなり単価が合わず、まったく発注がなくなった。ナメシや製品の価格を適正化し不足分を補っていく。</p> <p>○人員の確保が現在ではできているため、営業、催事出展、イベント出展当が活発に行えるため大幅な売上増が見込める。</p> <p>○従業員の高齢化、後継者問題。</p> <p>○物価高により全ての物の値段が上がり、人件費の抑制や対策をしてもそれを超えて物価の上昇が続く。</p> <p>○羅臼港の鮮魚の水揚げが極端に少なくなり、鮮魚処理の売上が激減している。春期の漁が不安である。</p>
建設業	<p>○前期・今期に比して4月以降の来期については、予定している事業案件が乏しい状態です。道南圏の発生者よりも道央・道央近郊又は首都圏の発注者の業務が増加し、地元の法人個人の設備投資が弱いように思われます。</p> <p>○土木工事は季節によって人材が欲しい時といらぬ時が分かれてしまうので難しい。</p> <p>○若手従業員が不足していて募集しても応募がない。</p> <p>○社員に若い人がいないため、今後の人材不足が心配。</p> <p>○材料、人件費の高騰により利益の確保が大変になる。</p> <p>○冬期間の仕事が少なすぎるため、冬の収入がない。</p>

<p style="text-align: center;">小 売 業</p>	<p>○物価高騰のため客数も減少、買い物の単価も小さい中、電気代・灯油代を維持していくのは大変です。赤字です。</p> <p>○物価高、客数減少の状況の中では頑張っている方だと思うが、世界的な経済に強く影響されていると感じている。</p> <p>○人材不足により、サービス、業況が低下する可能性があり、行政、商会としても、手当をする必要があると思うが、どのように考えているのか？</p> <p>○積雪量が少なかったことにより季節需要が減少した。顧客の高齢化と物価高によって客数が伸び悩んでいるように感じた。</p> <p>○3月から米の仕入値が下がる動きの中での物価高対策のお米券の配布があり、当然のことながら消費拡大に期待していたが本町は近隣市町村と比較し額面が低いため思った以上の効果を得られないと予想している。</p> <p>○他業種の進出が相次いだため、パートの確保が難しく、一部サービスを休止するなどの必要が出てきている。業況そのものはそれほど悪くない。</p> <p>○衣料品・寝具等の問屋の廃業が多く、商品の選択が困難になって、消費者ニーズに対応しづらい。また、商品調整（サイズ直し等）してくれる所が無く困っています。</p>
<p style="text-align: center;">サ ー ビ ス 業</p>	<p>○人口減少、老人化、外出・外食しなくなり住宅の建設もなし夕方には人も歩かず、車も走らず事業所も無く、活気も無く、先が見えません。</p> <p>○すべて物価高のせい。すべての材料が高い。値上げをしたら客は来ない。</p> <p>○夏期の日本人利用が減り、外国人客が増えてきた。言語を含めニーズに応えていけるかが課題。日本人客の夏休み大入りがなくなったのは痛い。</p> <p>○現状については来館者の安定もあり売上の維持はできているが飲食業を取り巻く環境から油断はできないと感じている。今後においては他の地区への出店や他業種への参入を見据えて動いていくべきと感じている。</p> <p>○地域通貨の導入により利用客が増加し売上は好調に推移しているが、今後、利用逡減や制度打ち切り等が生じた場合には売上が急減する可能性があり、制度依存による反動リスクが懸念される。</p> <p>○高齢のお客様が多く、入院やお亡くなりになる事による客数減や、カットのみなど施術の簡略化による客単価減。</p> <p>○売上は前年同期と比較すれば上昇しているが、共に仕入単価も上昇のため、状況はさほど変わらない。人件費や仕入等に対する経費の削減を今後も行っていく。</p>